

「ツチグリの探究 (4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

閉じた状態で採取してきたツチグリを、湿らせたタオルの上に置き、タイムラプス撮影を試みた。以下はその画像の抜粋である。思ったよりも開き方は緩慢だった。(後日動画も配信予定)



実験開始直後；まだ外皮は固く閉じている。



30分後；外皮の上部が開き始めている。



1時間後；スダジイの実のような形になってきた。



1時間30分後；内皮の一部が見え始めてきた。



3時間後；右側の個体はほぼ開き終わった。



4時間30分後；右側の個体は、反り返り始めている。



6時間後；左側の個体も完全に開き終わった。



8時間後；両方ともほぼ完全に反り返っている。



11時間後；外皮に押されてしぼんでいた内皮も、少しずつ丸くなってきた。時々虫が来て、頂部の孔から胞子を食べる行動も見られた。